

周南市立周陽小学校
校長 藤井 学

学校評価等に関するアンケートにつきましては、ご多用の折にもかかわらずご協力くださり、誠にありがとうございました。保護者アンケートの結果を下記のとおりとりまとめましたので、お知らせいたします。いただきましたご意見、お気づき等は今後の学校づくりに役立ててまいります。

なお、不明な点がございましたら、遠慮なく学校(担当:教頭)までお知らせください。

※ 右欄の数値は、保護者質問項目の平均値(4段階評価)

保護者質問項目		4	3	2	1	?	R3 6月	R3 11月	R4 6月	R4 11月	R5 6月	R5 11月
1	子供は、すすんで挨拶ができる。	27%	53%	19%	2%	0%	3.0	3.0	3.1	3.1	3.1	3.0
2	子供は、家や学校で本を読むことが好きである。	29%	37%	24%	11%	0%	3.0	2.9	3.0	2.9	2.7	2.8
3	子供は、積極的に「花いっぱい」の学校づくりに取り組んでいる。	17%	50%	14%	1%	18%	3.1	3.2	3.2	3.2	3.1	3.0
4	先生は、授業を分かりやすくするために、工夫して指導している。	49%	42%	1%	0%	9%	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5
5	子供は、家庭学習の習慣を身に付け計画的に学習している。	20%	54%	18%	7%	1%	3.0	3.0	2.9	2.9	2.8	2.9
6	家庭でも、子供のノートやプリント等、学習状況を見ている。	26%	49%	23%	2%	0%	3.1	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
7	学校は、基本的な生活習慣を正しく身に付けさせるよう指導している。	43%	50%	1%	0%	5%	3.3	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4
8	子供は、学校や家族の中でのきまりや約束事が守れている。	24%	60%	10%	5%	1%	3.1	3.2	3.1	3.1	3.0	3.0
9	子供は、身のまわりの整理整頓、美化に取り組んでいる。	9%	45%	31%	13%	1%	2.5	2.7	2.5	2.5	2.6	2.5
10	子供は、メディアの利用時間を決めて守ることができている。	14%	35%	35%	14%	1%	2.6	2.7	2.6	2.5	2.5	2.5
11	学校は、1人1人のよさを認め合い、励まし合える雰囲気大切にしている。	38%	47%	5%	1%	9%	3.3	3.3	3.4	3.4	3.4	3.3
12	先生は、子供の人権を尊重する姿勢で指導に当たっている。	46%	44%	3%	0%	7%	3.4	3.5	3.4	3.5	3.4	3.5
13	子供は、自分の考えや思いを友達に伝えたり発表したりすることができている。	26%	50%	17%	3%	4%	3.0	3.0	3.1	3.1	3.1	3.0
14	学校は、家庭や地域との連携のよさを生かした学校づくりをしている。	45%	45%	3%	0%	8%	3.3	3.5	3.4	3.5	3.4	3.5
15	子供は、家の手伝いをしている。	24%	40%	25%	11%	0%	2.8	2.9	2.8	2.8	2.8	2.8
16	学校は、学校・学年だより、ホームページ等を通じて、学校の様子が分かるように発信している。	47%	45%	1%	1%	5%	3.4	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5

4 できている 3 だいたいできている 2 あまりできていない 1 できていない ? わからない

1 あいさつ

ポイントは－0.1で、肯定的評価は80%でした。児童の評価も－0.1ポイントですが、肯定的評価は89%です。保護者のあいさつの評価は、登下校時の際のものだと考えられますが、児童は校内や教室でするあいさつ、あるいは廊下で行う会釈も含まれており、評価が高くなっていると考えられます。今年も代表委員会や、各クラスで行う「あいさつボランティア」の取組を続けています。学校内だけでなく、地域に出ても気持ちのよいあいさつができるよう、これからも全校体制で取組を続けていきます。

2 讀書

保護者のポイントは+0.1で2.8ポイント、一方児童は3.4ポイントでした。一度に借りられる冊数が増え、児童は喜んで図書室に本を借りに行っていますが、家庭での姿からはそこまで読書に親しんでいるようには見えなようです。貸出冊数の増加を目指し、継続的に取り組んでいきます。

4 わかりやすい授業

授業づくりの工夫について、高評価でした。コロナ禍で急速にタブレットの普及が進み、タブレットの操作に児童も教員も慣れてきたことが一因とも考えられます。授業に学習アプリを取り入れてわかりやすい授業を仕組むことも増えてきました。今後もよりわかりやすい授業を目指し、タブレットを適切に活用して引き続き授業改善に取り組んでいきたいと思います。

9・10 身の回りの整理整頓・メディアルール

身の回りを整理整頓することやメディアを適切に活用することは、成長していく上で大切なことです。元気アップ週間等を活用し家庭と連携しながら基本的な生活習慣の確立をめざしていきます。

14 地域連携

地域との連携に高い得点をいただきました。周陽中学校・徳山商工高等学校・消防署・市民センター等々、近隣の施設に恵まれている本校です。今後も、外部講師や活動サポートとして学校に入っていただき、効果的に地域との協働活動を進めていきたいと思ひます。

16 情報発信

毎回高い評価をいただいています。HPでは、学校の様子や児童の様子を「今日のできごと」でタイムリーに配信するようにしています。ぜひご覧になって、お子様とたくさん会話をしていただければと思います。

【自由記述から】
○少人数という利点をいかし、縦割り班などアットホームな雰囲気である。男女の仲がよい。
○ホームページの「今日のできごと」で様子がわかるのが楽しみである。
○図書館に行き、「たくさんの本を読みたい、借りたい！」と言って本が好きになっている。
○周陽フェスタや防災訓練など地域と連携した活動を通して、普段の生活ではできない貴重な体験をさせていただいた。
○担任の先生との楽しかった話をたくさん聞く。楽しくする工夫・声かけ・ふれあい等ありがたい。
○子どもがクラス遊びを楽しみにしている。
○学校全体が落ち着いた雰囲気、子どもたちも純粋でまっすぐな子が多い。
★周陽小がなくなるという話を聞くが、どうだろうか。存続してほしい。
→現在、そのような話は聞いておりません。
★読み聞かせをたくさんやっていただきたい。
→現在読み聞かせのボランティアは卒業生保護者の方が多く、人数が十分ではない状況です。今年度も、保護者の方に募集をする予定ですが、ぜひ積極的にご参加をお願いします。
★少し厳しすぎるように感じるところがある。のびのびとできる時間も大切にしてほしい。
→子どもに寄り添った指導をより一層心がけてまいります。
★子どもが校服(ブレザー)を着るのを嫌がる。熱がこもりやすく動きにくいと。制服はどうして着ないといけないのか教えてほしい。
→制服は、基本、全児童が着用するということから、①安心感②安全性③社会的平等などの面で利点があります。また、卒業式等では式服として使われています。学校では、運動する際にはそれにふさわしい服装(体操服・ジャージなど)を着用させてT.P.Oに応じた服装を指導しています。
★業間走の練習時に大汗をかいて体が冷え、体調を崩した。ポロシャツで走らせずに、体操服に着替えて汗対策をして練習させてほしい。
→申し訳ありませんでした。汗をたくさんかきそうなときは体操服に着替えて業間走等に取り組ませるようにします。

【重点目標と具体的方策】

	重点目標	具体的方策	アンケート項目との関連	R5 11月 結果	R56月 との差
学力向上	充実した家庭学習 (チャレンジ目標) 下学年 50冊 上学年 30冊	・学校全体で自主学習デーを設定して計画的に取り組むことができるようにするとともに、学習内容のノートを掲示することで、学習意欲の向上を図る。 ・よりよい学びを紹介するコーナーを、低・中・高学年で設け見合うことで、全体の学びの向上を図る。 ・家庭学習の手引きを活用し、保護者にも学習の内容や目標時間を周知し、徹底させる。10分×学年＋10分	5 子供は、家庭学習の習慣を身に付け、計画的に学習している。	2.9	＋0.1
		・朝読書を推進する。 ・図書室の本を教室に置き、様々なジャンルの本に触れることができるようにする。 ・図書室での読書イベントを実施する。	2 子供は、家や学校で本を読むことが好きである。	2.8	＋0.1
心と体育成	適切なメディア利用	・学期に1回、メディアコントロールを実施する。 ・各担任や養護教諭がメディアの正しい利用の仕方について指導する。 ・年度初めに、周南市「児童生徒の情報通信端末利用に関する指針」を配付し、各家庭でメディアに関するルールづくりをする。	10 子供は、メディアの利用時間を決めて守ることができている。	2.5	±0
	いじめ防止対応の組織的な展開	・終礼時における児童の情報交換を確実に実施する。 ・週1回の生活アンケートを確実に実施し、管理職に報告する。	11 学校は、1人1人のよさを認め合い、励まし合える雰囲気を大切にしている。 12 先生は、子供の人権を尊重する姿勢で指導に当たっている。	3.3 3.5	－0.1 ＋0.1
連携推進	地域とつながるあいさつ (いつでも どこでも だれとでも)	・運営委員会を中心に「あいさつ週間」の取組を全校で実施し、あいさつに対する実践意欲を高める。 ・前期、後期に分けて、児童と地域の方々を対象にした「あいさつに関するアンケート」を実施し、良い点や改善点を事後の取組にいかす。	1 子供は、すすんであいさつができる。	3.1	－0.1